

第55回日本てんかん学会学術集会

市民てんかん啓発イベント

趣意書

2022年9月19日（月・祝）～9月22日（木）

仙台国際センター

令和4年8月吉日

東北大学病院

第55回日本てんかん学会学術集会

趣 旨

てんかんは、様々な要因によってもたらされる反復性の発作症状と運動障害や発達障害、認知機能、心理社会的問題など多様な臨床的問題を伴う脳疾患です。

てんかんの有病率は一般的に1%と見積もられ、日本でも約100万人のてんかん患者がいるといわれており、更に子どもから高齢者まで誰もがてんかんに罹患する可能性をもっています。神経疾患の中でも有病率が非常に高い疾患である一方で、てんかんに対する社会的認知度は低いのが現実で、そのために多くの誤解や偏見が生じてしまっています。

例えば、学校ではてんかんという疾患のイメージによる誤解のために現場が適切に対応できない場合や、過度に発作を心配するあまり生活上の過剰な制限が行なわれている場合があります。就職時にはてんかんがあることを開示したことで、業務内容的には就くことが可能な仕事でも断られた人、職場で発作を起こしたために解雇された人など、大勢います。また、てんかんを抱える人自身や家族が社会的偏見に強く反応し、治療を含めた適切な対応をとられずにいるというケースも珍しくはありません。

このような現状を変えるために、てんかんの啓発に対する取り組みは世界各国で行われてきました。日本てんかん学会でもこの課題に取り組んできました。本学会は、1967年4月6日にてんかん学並びにこれと関連する学術の進歩向上を図ることを目的として、医師を中心として設立された学術団体です。現在の会員数は3,073名（2020年8月）で、毎年1回開催される日本てんかん学会学術集会（<https://www.c-linkage.co.jp/jes55/>）では、患者さんの心理面や社会面に関するシンポジウム、特別講演、教育講演、サテライトセミナーなどが行われてきました。

この度、第55回日本てんかん学会学術集会を仙台で開催することになりました。そこで、学術集会の前日に市民公開講座「知って安心、てんかん」を開催し、患者さんやそのご家族だけでなく、一般市民、企業の人事、施設の支援員などより広範囲で活躍されている人にてんかんの正しい知識を普及させる機会を作りたいと考えております。また、同日から学会会期中には、アート企画「わたしがわたしでいられるところ」を開催し、ライブアート制作を行います。これらの市民イベントは、東北大学病院との共催で開催いたします。本企画の目的は、「てんかん」の正しい知識の啓発と、てんかんのあるご本人やご家族、さらにその方を取り巻く多くの方が「てんかん」という病名だけで落ち込んだり、夢を諦めることがないように医療者や地域、さらにはプロスポーツ選手など、広くご活躍されている方からの応援をいただき、少しでも治療や生活に対して前向きになってもらえるような機会を作ることです。そして、その表現の場として、アート制作という創造活動の場を設け、人々の多様性やインクルーシブな社会の実現を目指すことです。

本企画にご賛同いただける皆さまからご支援を賜りたく存じます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和4年8月吉日

中里 信利

東北大学病院てんかんセンター センター長

第55回日本てんかん学会学術集会 会長



市民公開講座「知って安心，てんかん」 概要

<第一部：てんかん基礎講座> 10:00 – 12:00

座長：中里信和（東北大学病院てんかんセンター センター長・教授）

「てんかんと運転免許」 神一敬（同てんかん科 准教授）
「てんかんと差別」 小川舞美（同てんかん科 公認心理師）
「てんかんと学校」 植松貢（同小児科 准教授）
「てんかんと外科治療」 大沢 伸一郎（同脳神経外科 助教）

ビデオ応援メッセージ：

東北楽天イーグルス（野球），ベガルタ仙台（サッカー），仙台89ERS（バスケットボール），
井筒大樹・梶原沙帆（相撲）

<第二部：てんかんとともに> 13:30 – 14:50

座長：藤川真由（東北大学病院てんかん科 助教）

「病気だって友だち」 加納塩梅（講談看護師）
「てんかんと就労」 藤川真由

<第三部：YES-Japan企画パネルディスカッション> 15:00 – 16:00

座長：池谷直樹（横浜市立大学医学部・医学研究科脳神経外科学教室 助教）

ファシリテーター：

黒田直生人（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野，Wayne State University）
久保田隆文（東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野，国立病院機構仙台医療センター）

テーマ：「てんかんとコロナ禍」

<第四部：文化講演> 16:00 – 17:00

座長：青木 正志（東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野 教授）

講演：大丸拓郎（アメリカ航空宇宙局NASAジェット推進研究所）
「東北から世界へ、そして宇宙へ！」

若手医療者とのQ&Aセッション

アート企画「わたしがわたしでいられるところ」 企画書・概要

【イベント名】

第55回日本てんかん学会学術集会 アート企画「わたしがわたしでいられるところ」

【目的】

てんかんという病態の多様性だけでなく、てんかんとともに生きる当事者にも多様性がある。多様性やインクルーシブ社会の重要性が強く認識されるようになり、世界の「トレンド」にすらなりつつあるように見受けられる昨今、ではいったい何がインクルーシブ社会なのかと言え、それは「誰もが自分らしくいられる社会」ということに尽きるのではないか。伝統ある日本てんかん学会のアート企画として、こうした在り方の一実践例を、単なる展示物としてではなく、今そこで起こりつつある「生もの」として可視化、体験できる場を会場内に生成していく。

【概要】

仙台市内で活動するアートな福祉事業所3事業所程度の「日常」を会場に持ち込み、ミーティングや、制作、その他の活動を展開する。一般市民にもアート制作の参加を募り、表現者たちの参考作品や事業所紹介、開催中にできてきた成果物の展示を行う。表現者たちのアート作品の販売や、映像の上映会、シンポジウムの開催なども行う。

【日程】 2022年9月19日（月・祝）～22日（木） 10:00～17:00

【場所】 仙台国際センター会議棟2階 展示・レセプションホール 桜

【方法】 現地参加、オンライン参加

【参加費】 入場無料（事前申込みなし）

【共催】 東北大学病院、第55回日本てんかん学会学術集会

【企画問合わせ先】 電話: 022-717-7343/ FAX022-717-7346,

E-mail : mfujikawa@med.tohoku.ac.jp（担当：藤川）

市民てんかん啓発イベント

予算計画(案)

【収入の部】

費目		金額
自己資金	第 55 回日本てんかん学会学術集会運営費 より使用	¥2,000,000
自己資金	東北大学病院てんかん啓発資金より使用	¥300,000
広告掲載料 (目標)※	第 55 回日本てんかん学会学術集会 市民公開講座プログラム集 小計	¥840,000
	表紙裏 1 頁 4 色(カラー)(¥100,000:1 枠)	¥100,000
	後付1頁 4 色(カラー)(¥80,000:3 枠)	¥240,000
	後付1頁1色(モノクロ)(¥50,000:5 枠)	¥250,000
	後付1/2 頁1色(モノクロ)(¥30,000:5 枠)	¥150,000
	裏表紙裏1頁 4 色(カラー)(¥100,000:1 枠)	¥100,000
合計		¥3,140,000

(※本資金は市民公開講座とアート企画にのみ充当いたします)

【支出の部】

費目	内容	金額(税込)
運営費	イベント運営費 小計	¥1,900,000
	会場使用料	¥700,000
	機材関係	¥350,000
	「市民公開講座」運営および手配関係	¥150,000
	「アート企画」運営および手配関係	¥600,000
	看板および施工関連機材	¥100,000
広報費	広告宣伝および普及費 小計	¥1,040,000
	メディア番組放送料	¥100,000
	メディア番組制作および編集費	¥100,000
	プログラム集制作費・印刷費・送料	¥840,000
管理費	管理費 小計	¥200,000
	全体進行管理費	¥100,000
	出演者謝礼, 交通費, 備品他	¥100,000
合計(税込)		¥3,140,000

【構成員】	
代表	中里 信和 (東北大学病院てんかんセンター長、同大学院医学系研究科てんかん学分野 教授)
実行委員	藤川 真由 (東北大学病院てんかん科 助教)
	神一敬 (同大学院医学系研究科てんかん学分野 准教授)
	小川舞美 (東北大学病院てんかん科)

【事務局】

東北大学病院てんかんセンター内事務局(藤川真由)

住所 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1

TEL 022-717-7343 FAX 022-717-7346

E-mail: mfujikawa@med.tohoku.ac.jp

1. 広告媒体の名称：第55回日本てんかん学会学術集会市民公開講座プログラム集
2. 配布対象：第55回日本てんかん学会学術集会 市民公開講座参加者（現地・オンライン）
3. 発行部数/掲載期間：第55回日本てんかん学会学術集会市民公開講座プログラム集 1000部予定/
同プログラム集のPDF版を学会ホームページとイベント特設サイトに学会終了まで掲載予定
4. 広告掲載位置：ページ割付、掲載位置は主催者にご一任願います。掲載位置・順番等の選定理由は公表いたしませんので予めご了承ください。
5. 掲載位置と掲載料等

番号	掲載位置	スペース	色数	掲載料（税別）	枠数
①	広告ページ （表紙裏）	B5 1頁	4色（カラー）	100,000 円	1
②	広告ページ （後付け）	B5 1頁	4色（カラー）	80,000 円	3
③			1色（モノクロ）	50,000 円	5
④		B5 1/2 頁	1色（モノクロ）	30,000 円	5
⑤	広告ページ （裏表紙裏）	B5 1頁	4色（カラー）	100,000 円	1

6. 申込方法：学会ウェブサイトの「[協賛のご案内](https://www.c-linkage.co.jp/jes55/sponsor.html)」ページよりお申し込みください。
<https://www.c-linkage.co.jp/jes55/sponsor.html>
7. 申込締め切り：2022年9月5日（月）
8. 広告版下提出期限：2022年9月9日（金）
9. 広告版下原稿：第55回日本てんかん学会学術集会市民公開講座プログラム集への広告掲載 データまたは完全版下（写真は実画像データか紙焼き等）でご提出ください。配送に際しては十分な保護処置をとられ、運営事務局宛にメール添付、宅配便または郵便でご送付ください。
10. 広告版下送付先：

第55回日本てんかん学会学術集会 運営事務局

〒980-6020 宮城県仙台市青葉区中央 4-6-1 SS30 20F

(株)コンベンションリンクージLINKAGE 東北内

TEL：022-722-1657 FAX：022-722-1658 E-mail：sp-jes55@c-linkage.co.jp

11. お支払い方法：ページ割付等の詳細が決定次第、送付させていただきます。請求書発行日から1ヶ月以内に、指定口座にお振込みください。

12. 振込み口座

銀行名：七十七銀行 大学病院前支店

店番：255

口座番号：（普通預金）5024755

口座名：第 55 回日本てんかん学会学術集会 会長 中里信和

ダイゴジユウゴカイニホンテンカンガツカイガクジユツシユウカイカイチヨウ ナカサトノブカズ

13. 申込取り消し申込後の取り消しはできません。やむを得ず広告掲載を取り消される場合、掲載料の返金はいたしませんのでご了承ください。《免責事項》主催者は不可抗力またはやむを得ない事情により、開催形態の変更（完全 WEB 開催）または開催の延期・中止をする場合があります。中止の際は掲載料の一部または全額を返金しますが、掲載料以外でかかった申込者側の経費に関しては、主催者は保証の責を負いません。

14. 申込先：

第55回日本てんかん学会学術集会 運営事務局

〒980-6020 宮城県仙台市青葉区中央 4-6-1 SS30 20F

(株)コンベンションリンケージ LINKAGE 東北内

TEL：022-722-1657 FAX：022-722-1658 E-mail：sp-jes55@c-linkage.co.jp